



# やまた 広報

## 大物のサケ 絶対に放さないぞ

「織笠川鮭まつり」が11月27日、織笠川特設会場で開かれ、2,200人の観光客らでにぎわいました。名物のサケのつかみ捕りには多くの親子らが参加し、ゴム長靴と軍手姿でお目当てのサケを捕まえていました。中には逃げ回るサケに苦戦する子供たち。全身ずぶぬれになりながらも捕まえた大物のサケを必死に抱え、川岸へと運んでいました。

No  
.....  
856

今号の主な内容

オランダ王国ザイスト市使節団が来町  
バランスシート、財政計画2005の公表  
みんなのスペース  
叙勲～長年の努力が認められて～  
町のわだい

2～3  
4～5  
6～7  
8  
9

CONTENTS

12月1日号 2005

## ADO玩具で遊びの幅広がる



11月14日に開かれた「たんぼぼ学級」

山田町とザイスト市の友好関係締結5周年を記念してザイスト市から町に贈られたADO玩具が、「たんぼぼ学級」など町教育委員会の各種事業で利用されています。この玩具は同市にある障害者施設で作られたもので、三原色(黄、青、赤)を使った色合い豊かな木製玩具。ADOとは、特別な、最適な、壊れない物の製造という意味の略語になります。「たんぼぼ学級」託児ボランティアの「たんぼぼの会」の柏原陸子代表は、「子供たちは新しい玩具に大喜びで、玩具に乗ったり手に取ったりして遊びに集中していました。手作りの木製玩具で温もりも感じられ、何よりも遊びの幅が広がります。今後大切に使い続けていきたいです」と話していました。

山田中学校の「わだつみ祭」を訪れた皆さんは茶道を体験。「結構なお点前でした」



オランダ料理教室では、和気あいあいとした雰囲気の中で料理作りが行われました



料理教室の後の食事会では、参加者から「まもちなどが振る舞われ、山田の味に舌鼓を打ちました」

### ◆ザイスト市使節団の皆さん (敬称略)

役職	氏名
ザイスト市長	ルドルフ・ブックホーヴェン
同夫人	トース・ブックホーヴェン
ザイスト市国際交流担当	ロナルド・ファン・ヘーメレン
同夫人	マリーケ・ファン・ヘーメレン
財団法人ホフライス会長	フレッド・スティンスマ
ザイスト市交流協力者	ポール・ヨングブルドゥ
財団法人ホフライス理事	コニー・ヨングブルドゥ
財団法人ホフライス理事	ウィム・ハルチェス
同夫人	ヨーク・ハルチェス
通訳	山口千真

これに対しブックホーヴェン市長が「滞在期間中、皆さんから本当に温かい歓迎を受け、心から感謝しています。山田の皆さんとともに、とても楽しい時間を過ごすことができました。お互いの文化の違いを理解し合い、尊敬し合うことで良い社会ができるはず。これからも理解を深め合っていきます」とお礼を述べ、出席者全員に記念のメダルとボールペンを贈りました。アトラクションでは使節団の皆さんが太鼓に挑戦するなど滞在最後の夜を満喫し、翌朝帰国の途につきました。

## 山田町 ザイスト市 友好関係締結5周年



オランダ・ザイスト展の開会セレモニーの様子/同展に合わせてユトレヒト州出身の絵本作家ディック・ブルーナ氏のポスター展も行われました(丸写真)



本町とオランダ王国ザイスト市が友好関係を締結して今年で五周年を迎えました。これを記念して、同市からルドルフ・ブックホーヴェン市長夫妻をはじめとした使節団九人が本町を訪ね、使節団の皆さんは町内各所で行われた行事に参加するなど、お互いの文化への理解と交流を深めました。

# ザイスト市使節団9人が来町

## オランダとのきずな一層深く



祝賀会ではアトラクションで行われた宮古市の山口太鼓に挑戦しました

ザイスト市使節団の皆さんは、十月十九日に役場を訪れ、沼崎喜一町長を表敬訪問しました。翌二十日には町中央コミュニティセンターでオランダ料理教室が開かれ、日蘭交流友の会会員など三十三人が参加。使節団の皆さんが講師となり、オランダの代表的な家庭料理、パンネクケン(パンケーキ)とベントーティフ(フレンチトースト)の二品を作りました。二十一日からは町内の老人ホームや山田中学校の「わだつみ祭」を訪ねるなど、多くの皆さんと交流を深めました。二十二日には町中央コミュニティセンターを会場に行われたオランダ・ザイスト展と「ディック・ブルーナ」ポスター展の開会セレモニーに出席。同展には二十八日までの期間中、町内外から四百三十三人が訪れる盛況ぶりでした。



祝賀会では「岩手山田旅情」を日本語とオランダ語の2カ国語で一緒に歌いました

# 財政公表

問い合わせ 役場企画財政課財政担当  
☎82-3111内線431

## ◆普通会計のバランスシート (平成17年3月31日現在)

<h3>資産</h3> <p><b>370億5,421万円</b> (前年度より2億8,921万円増)</p> <p>町にどのような資産があるかを表 示。町はこれらの資産(土地、建物、 現金など)を有効に活用することで、 町民の皆さんにさまざまなサービス を提供することができます。</p> <p>1. 有形固定資産 339億7,562万円 (うち土地 53億5,258万円) 2. 投資等 12億721万円 3. 流動資産 18億7,138万円</p>	<h3>負債</h3> <p><b>125億2,726万円</b> (前年度より387万円減)</p> <p>町にどれくらいの負債があるかを 表示。毎年度の経費に加えて、これ らの負債返済のため、町民の皆さん に負担を求めることとなります。</p> <p>1. 固定負債 117億3,715万円 2. 流動負債 7億9,011万円</p>
<h3>正味資産</h3> <p><b>245億2,695万円</b> (前年度より2億9,308万円増)</p> <p>資産の形成に充てた国・県支出 金、町税などを表示しています。</p> <p>1. 国県支出金 99億7,019万円 2. 一般財源等 145億5,676万円</p>	

握することもできます。  
一般会計と土地取得事業特別会計  
を合算した普通会計のバランスシ  
ーは左表のとおりで、**資産総額は三  
百七十億五千四百二十一万円**(町民  
一人当たり百七十七万七千八百八十  
円)、**負債総額は百二十五億二千七  
百二十六万円**(同六十万八千二百八  
円)、**正味資産総額は二百四十五億  
二千六百九十五万円**(同百七十七万

千三百五十三円)になります。  
町の会計は、普通会計のほか6  
つの特別会計と水道事業会計があり、  
これらをすべて総計した「連結バラ  
ンスシート」も作成しています。こ  
れによると町の**資産総額は四百八十  
八億七千二百二十七万円**、**負債総額は  
百八十二億六千三百三十三万円**、**正味  
資産総額は三百六億八百四十四万円**と  
なります。

町民1人  
当たり  
**資産は178万円、負債は60万円**

**バランスシート(平成16年度)**

町では、平成十六年度の決  
算に基づいてバランスシート  
を作成しました。  
バランスシートは財産の中  
身や財政状況を示した表で、  
貸借対照表と呼ばれています。  
バランスシートの左側は、町  
が所有する資産(土地、建物、

現金など)で、右側は資産形成に要  
した負債(借入金など)と正味資産  
(資本金など)です。バランスシ  
ーを作ることで、町にどのくらい財  
産があり、どのくらい借金を抱えて  
いるのか明らかになります。また、  
町が一年間に町民の皆さんの資産を  
どれだけつくることのできたのか把



左から、佐々木良一町議会議長、沼崎喜一町長、高岡顯尚町長、木内正直町議会議長

## 千葉県山田町と姉妹都市を終結 来春をもって20年の歴史に幕

千葉県山田町と本町の姉妹都市終  
結確認式が十月二十二日、役場特別  
応接室で開かれ、来春三月二十六日  
をもって姉妹都市を発展的に終結す  
ることを確認しました。千葉県山田  
町が来春三月二十七日に近隣町村と  
合併して香取市になり、縁結びの  
きっかけとなった「山田町」の名称が  
消えることから、合併の前日をもつ  
て終結することにしたものです。  
式には、千葉県山田町から高岡顯  
尚町長、木内正直町議会議長、高木

茂総務課長ら四人、本町から沼崎喜  
一町長、川村永爾助役、松尾光信教  
育長、佐々木良一町議会議長、昆暉  
雄町議会議長ら十二人が出席しま  
した。終結確認書の署名に先立ち、  
沼崎町長が「二十年間の深い交流に  
心から感謝しますとともに、これか  
ら変わらぬ友好の心は持ち続けて  
いただきます」とあいさつ。これに  
対し、高岡町長は「一抹の寂しさを  
感じますが、われわれは香取市の中  
で山田という地域性は失わずに頑

張っていきたいと思います。これま  
での深いお付き合いに感謝しますと  
ともに若手県山田町のさらなる発展  
を願っています」と述べました。そ  
の後、両町長が終結確認書に署名し、  
交換しました。  
本町の合併三十周年記念事業の一  
環として、全国の「山田」のつく市  
町村に呼び掛け、千葉県山田町と姉  
妹都市を締結したのが昭和六十年十  
月二十日。以来二十二年にわたり児童  
生徒の相互訪問や物産交流などを通  
じて友好関係を築いてきました。来  
春をもって自治体としての交流は終  
結しますが、これまで築いてきた友  
好のきずなを大切に、今後も民間  
レベルでの交流が続いていくことに  
期待します。

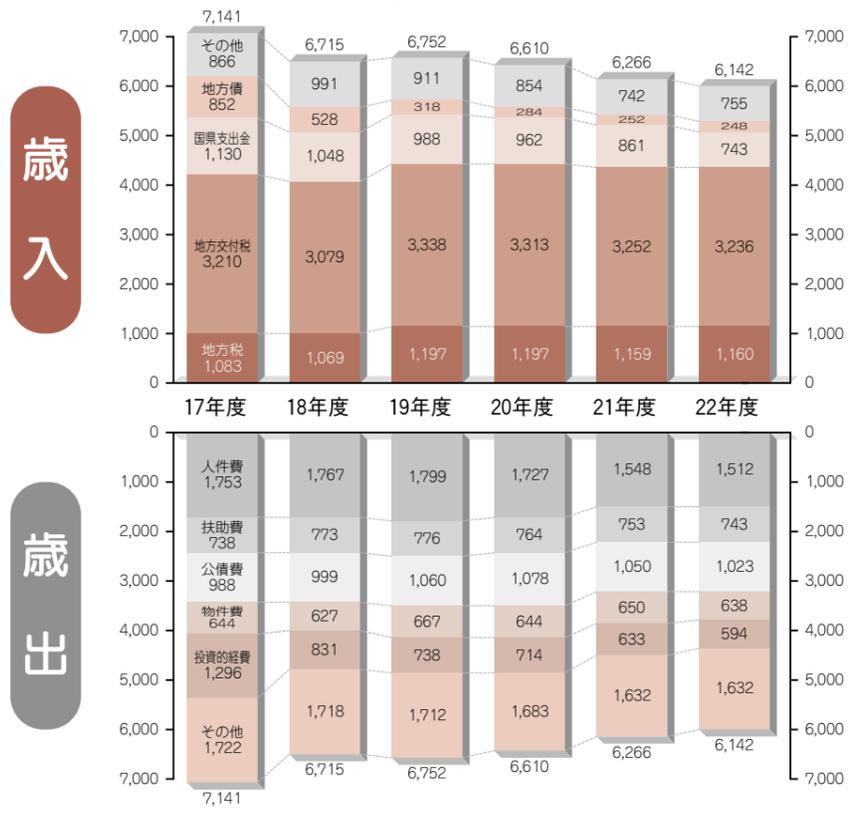
## 財政計画2005

町では中長期的視  
野に立った財政運営  
を進めるための「財  
政計画2005(一  
般会計)を策定しま  
した。  
これは予想がまっ  
たく困難な地方交付  
税について、このほ  
ど総務省から示され  
た地方財政収支の仮  
試算を基にこれまで  
の財政計画を作り直  
したもので、来年度  
からスタートする第

八次山田町総合発展計画(平成十八  
年度から二十二年度までの五カ年  
間)を実現するための財政運営の指  
針となるものです。  
歳入については、回復したい景  
気と国の三位一体の改革に伴い、町  
税や地方交付税、補助負担金は減少。  
歳入総額も年々減少し、平成十七年  
度と二十二年度を比べると一三・  
九%減になると見込んでいます。  
こうした中で、歳出では第八次総  
合発展計画の五カ年間の事業が組み  
込まれており、着実な事業推進を目  
指していきませんが、平成十八年度か  
ら二十年度までの三カ年で二億六千

## ◆財政計画(平成17年度~22年度)

[単位:百万円]



万円の財源不足が生じると見込  
まれることから、財政調整基金  
(預貯金)を取り崩して運営し  
ていくことにしています。建設  
事業などの投資的経費は、平成  
十八年度からかなりの縮減とな  
り、今後は地方債残高(借金)  
や公債費(借金返済)が減少し  
ていきますので、将来への負担

は軽減されていくこととなります。  
これまで財政再建団体(民間でい  
う破産)への転落を回避するため、  
行政改革に沿って人件費の削減や公  
共事業の見直しを進め、歳出規模を  
縮減してきました。今後も身の丈に  
あった健全な財政運営に努めてい  
きますので、皆さんのご理解とご協力  
をお願いします。



前列左から川村文乃さん、勝山真弥君、伊藤美保子さん、後列左から鈴木潮美さん、昆咲樹さん、昆澪子さん、熊谷渚さん

## 入賞者7人に賞状授与・伝達

全国納税貯蓄組合連合会が募集した中学生の「税についての作文」の賞状授与・伝達式が11月16日、役場で行われました。同作文は税の仕組みや役割を正しく理解してもらおうと実施されているもので、県内から3,361編、全国では432,747編の応募がありました。式では一人一人に賞状と副賞が贈られ、受賞者を代表して川村文乃さんが受賞作「税金が支えているものを発見!」を朗読しました。受賞した皆さんは次のとおりです。

### ◆宮古税務署長賞

川村文乃（豊間根中3年）

### ◆東北地区納税貯蓄組合連合会長賞

勝山真弥（豊間根中3年）

伊藤美保子（山田中1年）

### ◆岩手県納税貯蓄組合連合会長賞

鈴木潮美（豊間根中3年）

昆 咲樹（山田中3年）

### ◆宮古・下閉伊地区納税貯蓄組合連合会長賞

昆 澪子（山田中3年）

熊谷 渚（山田中3年）

《敬称略》

## イラスト



町の歴史をよく知ることができました。明治、大正時代の写真が多く残っていることにも驚きました。蓬萊橋を馬に乗って渡っている写真がとても印象的でした。時代を感じますね。

**匿名希望（飯岡・32歳）**

**亡き母をしのぶ十二月の風**

私の母はコタツの片隅でテレビを見て楽しんでました。足腰が衰えたのか、立ち座りの際はコタツの台を支えにするようになり、時には台がキュッと鳴ることもあり、注意をしたり叱ったりもした。それが母から受け継

いだようになり私が毎日その繰り返しです。思えば寒い日も朝早くから家事、その他いろいろよくやってくれた。優しい言葉、感謝の言葉も述べたこともない。その母も二十三年前、八十七歳で天国に旅立った。かぜもひいたことのない丈夫な体。今日はそんな母がしのばれる。

**岡市健吾（飯岡・?歳）**

**貴重な山田の自然を大切に**

山田を離れて十年くらい経ちます。十一月一日号の広報やまだの山田湾を見ながら、あらためてきれいな所で育った私は幸

せだなと思えました。豊間根で育ちましたが自然がたくさんあり、今思えばある意味ぜいたくな環境だったと思います。小学一年生の子と主人と名古屋で暮らしていますが、名古屋も素晴らしい所です。しかし、残念なこと山田のように自然があまりありません。海も工業地帯で、きれいな海とは言えないのが正直なところ。山田町が発展していくのは大変うれしいことですが、貴重な自然ときれいな海は大事にしてほしいです。

**笹ノ内真奈美（愛知県阿久比町・?歳）**

# みんなのスペース



すずきゆうとくん  
(大沢保育園・6歳)

## ぼくのゆめ

大きくなったらサッカー選手になって、外国のチームでプレーしてみたい。

## 投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

### 街路樹と町長コラムに疑問

駅前通りの街路樹については、かつて広報でも指摘されていたが、イロハモミジの枝の剪定がどうにかならないものか。このモミジに似つかわしくない整枝で、とても見るに耐えられません。海岸に向かって左側の通りの多くが欠けています。枯死、あるいは意図的なものか、その辺も調べ、県振興局と相談してぜひ補ってほしい。できればこの街路樹を海岸通りまで延長してほしい。そうすればきれいな並木になると思います。

広報紙の中の「町長室から」の掲載をやめてほしい。そもそもこの記事のねらいは何か。ただ自分をアピールしているだけのように思われる。そういうことより町民の声（要望、願い、提言など）を載せるスペースの方が「町の活性化」(人々の意識向上)になると思うが、当人の答えをお聞きしたいと思います。

**東海林和彦（山田・?歳）**

**【回答・地域整備課】**  
駅前通り（県道陸中山田停車場線）の街路樹「イロハモミジ」

は、平成四年に開催された三陸・海の博覧会に先立ち、県が山田駅前の環境整備の一環として植樹したものです。ご意見について宮古地方振興局土木部に問い合わせたところ、イロハモミジの樹木剪定は十一月十日に実施済みとのこと。樹木の枯死あるいは意図的な除伐の調査については、平成十四年二月一日号の広報に掲載しているように、当時、沿道商店街の方から「ハネ虫の発生による営業への支障が」「樹木の成長に伴い、根の部分が隆起し安全な通行の妨げに」といった苦情があり、当初植え込んだ三十本のうち九本を意図的に間引きしたものです。以上の経緯などから、ご意見の駅前通りや海岸通りの街路樹の補充、植え替えについては現時点では容易に出来るものではないと判断しております。

ここ山田駅前の道路は山田町の玄関口でもあり、今後、宮古地方振興局土木部には周辺の状況および景観に配慮した適切な維持管理を要望していきたいと考えております。

**【回答・町長】**  
「町長室から」の掲載についてお答えします。本欄は、平成十二年九月から町長のコラムとして掲載されているものです。そのねらいを要約すると、▼広報記事だけでは伝えきれない出来事などを私なりにすくい取ってお伝えすること▼その時々感じた私の思いも知っていたきたこと▼いろいろな機会に個別に町民の方からご質問があり、どうしても皆さんにお知らせしたい共通する課題についてお伝えすること——で、時には読者の皆さまの息抜きにと、私の感じた自然の移ろいなども書いております。

町民の声欄の充実をご提言されておりますが、「みんなのスペース」欄を活用いただきたいと思っております。広報に首長のコラム欄があるのは異例のことではなく、むしろ親しまれる広報づくりの視点からは必要と感じております。なお、平成十六年三月に実施した町政モニターアンケートでは「広報紙の中で関心を持って読む記事は？」との質問に対して、十七項目中で六番目の結果となっております。ご理解をお願い致します。

**時代を感じる蓬萊橋の写真**  
広報やまだの合併五十周年記念企画は読み応えがあり、山田

**盛岡市の昆野さんが町に100万円を寄付**

母が生前お世話になったお礼にと盛岡市の昆野武彦さん(七〇)が、町に百万円を寄付してくれました。昆野さんは「母は山田にずっと住み、今年十月、百一歳の誕生日を前に亡くなりましたが、これまで山田町に大変お世話になりました。町の発展のために使っていただければ故人も喜んでくれると思います」と述べられました。町ではこのご厚志を無にすることなく、大切に使用させていただきます。

## 地方自治の進展に貢献



高齢者叙勲  
**旭日単光章**  
阿部政哉さん(川向町・88歳)  
地方自治功労(元町議会議員)

昭和25年から38年までの通算3期12年にわたり、町議会議員として地方自治の進展に貢献しました。「議員在職中は戦後の混乱期と町村合併の時期であり、財政問題にとっても苦労した」と当時を振り返ります。昭和25年、山田町商工会設立発起人を経て理事となり、45年から副会長、平成5年から11年まで顧問を務め、商工業の振興に尽力されました。受章について「身に余る光栄です。とても感激しています」とほほ笑みます。

## 郵便の集配ひたすらに



秋の叙勲  
**瑞宝単光章**  
港達男さん(船越・67歳)  
郵政業務功労(元郵政事務官)

昭和33年、船越郵便局に入局し、41年間、郵便物の集配業務を行いました。昭和58年には町内の特定局の集配業務が集約されたため、山田郵便局に移籍。昭和61年に局長代理となり、平成11年3月に退職しました。「当時の集配は自転車で、自転車が入れない所は歩きでした。道路事情も悪く、雪の日はさらに大変だった」と振り返ります。受章について「先輩や同僚に支えられての受章です。夢にも思いませんでした」と笑顔で話します。

## 航空防衛裏方で支える



危険業務従事者叙勲  
**瑞宝単光章**  
寺本清次さん(大沢・61歳)  
防衛功労(元准空尉)

昭和39年、航空自衛隊に入隊。山田分屯基地に配属されて以来34年間、有線機器、通信ケーブルの保守整備業務に従事しました。特に昭和46年、栗石町上空で起きた全日空事故の際の災害派遣は忘れられない思い出。秋田県加茂、沖縄県久米島、北海道網走と回り、再び山田に戻って、平成10年に退官。日本列島の南から北まで航空防衛を裏方で支えてきました。受章について「思ってもいないことで驚いています」と笑みがこぼれます。



## 従五位旭日中綬章

故 鈴木甚左エ門さん  
(大沢・84歳)  
水産業振興功労  
(元全国漁業協同組合連合会副会長)

## 漁業振興に尽力

九月二十日に逝去された元全漁連副会長の鈴木甚左エ門さん(八四)に、死亡叙勲として従五位旭日中綬章が贈られました。鈴木さんは、昭和五十三年から平成十一年まで県漁連会長を七期務めました。漁家の所得向上と経営安定を図るため、ホタテ養殖やカキの生産強化に尽力。岩

手地区漁業労働安全対策協議会を発足させ、漁業労働災害防止体制を確立しました。昭和五十五年からは全漁連副会長を二期六年間務め、韓国とのワカメの数量調整交渉で日本側団長も務めました。通算五期二十年にわたり、岩手海区漁業調整委員会会長を務めたのをはじめ、県さけ・ますはえ縄漁業組合の初代組合長、全国共水連県事務所長など漁業関連の多くの団体を歴任。昭和六十三年には県知事表彰(県勢功労)を受けています。ここに生前の功績をたたえ、ご冥福をお祈り致します。



## 旭日単光章

故 東梅岩松さん  
(田の浜・74歳)  
地方自治功労(元町議会議員)

## 町勢発展に貢献

八月二十九日に逝去された元町議会議員の東梅岩松さん(七四)に、死亡叙勲として旭日単光章が贈られました。東梅さんは、昭和六十二年に地域住民の代表として町議会議員に初当選。以来、平成十五年まで通算四期十六年にわたり、町の発展に貢献されました。この間、町議会経済常任副委員長、教育民生常任委員長、町消防委員会委員などを歴任したほか、船越湾漁協の監事および理事として水産業の振興に尽くされました。ここに生前の功績をたたえ、ご冥福をお祈り致します。



今月の題字  
佐藤 知佳ちゃん  
(山田南小3年)

# 町のわたい

## 町内小学校で創立130周年記念事業 伝統と自然を大事にします

船越小学校(英聡子校長・児童222人)と織笠小学校(相模貞一校長・児童108人)、豊間根小学校(濱田宏一校長・児童141人)が本年でそれぞれ創立130周年を迎え、各学校で記念行事が行われました。

10月30日には船越小学校で記念式典が行われ、児童や卒業生など350人が出席。式では英校長が「船越小学校の子供であるという誇りと自覚を持ち、心を新たにして学校生活を送ってください」とあいさつ。感謝状贈呈の後、全校児童による児童発表が行われ、「40年続いた砂の造形大会と親子海岸清掃など、これからも伝統の行事を続け、美しい船越湾と荒神海岸をずっと大事にしていきます」と力強く決意を述べました。また、同日には織笠小学校



で130周年記念学習発表会が開かれ、創作全校劇を上演。同小学校が創立されてから現在までの織笠の人々の暮らしの様子を児童たちが熱演しました。

11月3日には豊間根小学校で記念式典と、豊間根の平井俊榮さん(寶珠院住職)の記念講演が行われました。



## 「ふるさとCM大賞」審査会 本町が審査員特別賞に輝く

11月26日、岩手朝日テレビ主催の「ふるさとCM大賞」審査会が盛岡市で開催され、県内市町村が30秒のテレビCMで、ふるさと自慢を競い合いました。4回目となる今年は27市町村が参加。本町からは役場総務課で制作した「ここどこ?」を出展しました。作品は飯岡の沼崎正弘さん(64)と孫の平石真統くん(5)と一緒にハイキングしながら山田の魅力をアピールするものです。結果、本町は審査員特別賞のユーモア賞を受賞。副賞として年間50回、CMが放送されることになりました。なお、審査会の模様は12月23日午後2時から同局で放送されます。

## 山田漁港周辺のごみを撤去 漁業関係者や高校生ら汗流す

11月12日、境田町の山田漁港船揚場周辺で不法投棄されたごみなどの撤去作業が行われました。山田の海を守る会が「森川海さわやか推進事業」として実施したもので、山田湾漁協組合員や漁船団員、山田高校ポート部と野球部の生徒ら50人が参加。早朝から夕方までの作業で100本近くのタイヤ、冷蔵庫、テレビなどを収集したほか、木造廃船5隻は重機を使って解体しました。皆さんの協力により漁港周辺は見違えるほどにきれいになりました。



# 税制改正

## 65歳以上の方は負担増に

地方税法、所得税法などが改正され、町民税・県民税および所得税の計算方法が変更になりました。主な改正点は、年金収入を対象とした公的年金等控除の縮減や、所得控除のうち六十五歳以上が対象の老年者控除の廃止などで、特に六十五歳以上の方の負担が増える内容となっています。町民税・県民税は平成十八年度分から、所得税は平成十七年分から適用になります。

### 公的年金等控除額の改正

公的年金等の収入額から控除される公的年金等控除額のうち、年齢六十五歳以上の方の控除額が見直され、最低保障額が百二十万円（改正前は百四十万円）となります。詳しくは下表のとおりです。

### 老年者控除の廃止

所得金額から差し引く所得控除のうち、年齢六十五歳以上の方に適用されていた老年者控除（町民税・県民税四十八万円、所得税五十万円）が廃止されます。

### 65歳以上の方に係る非課税措置の廃止（町民税・県民税のみ）

年齢六十五歳以上で、前年の合計所得金額が百二十五万円以下の方への非課税措置が廃止されます。ただし、急激な税負担の増加を緩和するため、平成十七年一月一

### 定率減税も縮減に

日において六十五歳に達していた方（昭和十五年一月二日以前生まれの方）で前年の合計所得金額が百二十五万円以下の方は、平成十八年度分は税額の三分の二、平成十九年度分は三分の一を減額する経過措置がとられますが、平成二十年度からは金額が課税されます。

町民税・県民税の所得割が課税されるすべての方が対象となる定率減税が二分の一に縮減されます。

これまで所得割額から一五%相当額（最高四万円）が控除されていましたが、平成十八年度分からは七・五%相当額（最高二万円）の控除になります。

なお、所得税については、平成十八年分から一〇%、最高十二万五千元（現行二〇%、最高二十五万円）に改正になります。

○65歳以上の方の公的年金等の所得の簡易計算表（速算表）

	その年中の公的年金等の収入額（A）	公的年金等にかかる所得の算出方法
改正前	2,600,000円以下	(A) - 1,400,000円
	2,600,000円超 4,600,000円以下	(A) × 75% - 750,000円
	4,600,000円超 8,200,000円以下	(A) × 85% - 1,210,000円
	8,200,000円超	(A) × 95% - 2,030,000円
改正後	3,300,000円以下	(A) - 1,200,000円
	3,300,000円超 4,100,000円以下	(A) × 75% - 375,000円
	4,100,000円超 7,700,000円以下	(A) × 85% - 785,000円
	7,700,000円超	(A) × 95% - 1,555,000円

※年齢65歳未満の方については、変更はありません。

### 生計同一の妻に対する非課税措置の廃止（町民税・県民税のみ）

均等割の納税義務がある夫と生計を同一にする妻の均等割の非課税措置が廃止され、所得が一定金額を超える場合は、均等割（町民税三千円、県民税千円）が課税されます。

◆問い合わせ 役場税務会計課 町民税担当（☎82-3111内線112）へどうぞ。

### 町長室から

十月二十三日の山田町合併五十周年記念式典は、町内外から多くのお客様をお迎えして盛会のうちに終了しました。あらためてご協力いただきました関係者の皆さまに感謝申し上げます。「広報やまた」十一月一日号が合併特集号になりましたが、町の歴史を語る資料でもあり保存して後世に残していたければ幸いです。

今年も早いもので師走に入りました。この時期の行政の課題は新年度の予算編成作業ですが、地方では国の三位一体改革の行方をかたずを飲んで見守っているといったも過言ではありません。地方への税源移譲、補助金削減、地方交付税の見直し、いずれも私たちにとっては予算編成の根幹をなすものであり、地方の声が確実に実現することを切に願わざるを得ません。師走といえは新聞各紙では「今年の十大ニュース」を特集しますが、皆さんの十大ニュースは何でしたか。

山田町長 沼崎喜一



# おしらせ

山田町役場 ☎82-3111

町のホームページアドレス

<http://www.town.yamada.iwate.jp/>

まちで出会ったかわいい笑顔

## 広報クイズ

222

三つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- 1 友好関係締結5周年を記念して本町を訪れた、ザイスト市使節団の人数は何人?  
①7人 ②8人 ③9人
- 2 今号の「みんなのスペース」に掲載されたイラストは全部で何点?  
①10 ②11 ③12
- 3 船越小、織笠小、豊間根小は今年創立何周年を迎える?  
①30 ②50 ③130
- 4 今月の「一歳になりました」に登場している赤ちゃん11人のうち、男の子は何人?  
①5人 ②6人 ③7人

【応募方法】 はがきに①クイズの答え②住所③氏名④年齢を明記の上、応募ください。

【応募先】 〒028-1392 (住所記載不要) 山田町役場広報クイズ係

【締め切り】 12月15日(当日消印有効)

☆前回の正解は、①-A、②-C、③-B、④-A、⑤-Cでした。応募者数は36通で32通が正解、抽選の結果次の20人が当せんしました。

中央町=鈴木瑤子(16) 八幡町=武藤直子(12) 長崎=堀合裕美香(8)、小林夢花(2) 飯岡=白土陸(?)、佐々木大地(17) 船越=阿部由佳(12)、黒沼治三郎(75)、佐々木健三(60)、佐賀達徳(14)、黒澤頼江(?) 田の浜=山崎真也(10)、黒沢純平(12)、田畑有望(12)、加藤辰造(65) 織笠=阿部真由子(17)、佐々木八重子(?)、鈴木忠平(?) 大沢=上沢りえ(6) 豊間根=尾形奈保(5) <敬称略>

## 町読書感想文コンクールにご応募を

「第37回読書感想文コンクール」が開催されます。皆さんのご応募をお待ちしています。

- ▷対象 小学生以上
- ▷応募基準 小学1、2年生…400字詰め原稿用紙2枚以内 同(3年生以上)…原稿用紙3枚以内 中学生…原稿用紙4枚以内 高校生以上・一般…原稿用紙5枚以内

▷応募方法 来年1月31日までに町立図書館に郵送するか、直接提出してください。

※小・中学生、高校生は学校を通じて提出してください。

▷応募先・問い合わせ 町立図書館(町中央コミュニティセンター内 山田町八幡町3-20 ☎82-3420)へどうぞ。

## 親子で和風作りにチャレンジしよう

和風やクリスマスリースなどを制作する「アイデアとアレンジでクリスマス&お正月」が開催されます。

▷日時 12月17日(土) 午前9時半~11時半

▷場所 陸中海岸青少年の家

▷コースと参加料 Aコース…和風(310円) Bコース…ミニ門松(800円) Cコース…クリスマスキャンドル(400円) Dコース…クリスマスリース(350円)

▷定員 各コースとも小学生以上30人(小学3年生以下は保護者同伴とします)

▷申込期間 12月6日~11日

▷申込先・問い合わせ 陸中海岸青少年の家(☎84-3311)へ。

## 第4回山田町議会定例会

▷日時 12月7日(水)開会 午前10時~

どなたでも傍聴できます。詳しい日程などについては、町議会事務局(☎82-3114)へお尋ねください。

## 6日から県芸術祭巡回美術展を開催

巡回美術展が開催されます。今年の県芸術祭美術展の入選作品80点を展示。皆さんのご来場をお待ちしています。

▷期間 12月6日~8日

▷時間 午前9時~午後5時

▷場所 町中央公民館

▷本町の入選者

洋画…昆佑美、山根ノブ子 日本画…菅田美世子、藤原保子、下野美貴子、長崎百合子、福土のみ子、佐藤順子 書道…大鐘洋月 <敬称略>

▷問い合わせ 町教育委員会事務局文化担当(内線624)へ。

## 11日に福祉バザー 皆様のご来場を

福祉バザーが開かれます。どうぞご来場ください。

▷日時 12月11日(日) 午前10時半~正午

▷場所 町中央コミュニティセンター

▷問い合わせ 役場保健福祉課厚生援護担当(内線135)へ。

## シルバーカレッジ公開講座に参加を

いわてシルバーカレッジの公開講座が行われます。入場は無料で、どなたでも参加できます。

▷日時 12月14日(水) 午後1時~3時半

▷場所 町中央公民館

▷内容 講演「いなかは宝の山」 講師：皆川洋一さん(藤沢町)

▷申込期限 12月7日

▷申込先・問い合わせ 陸中海岸青少年の家(☎84-3311)へ。

## 町で臨時職員を一般公募します

町では、臨時職員を募集します。選考方法は書類審査(履歴書)と面接です。

▷職種 一般事務補助

▷勤務場所と募集人数

地域整備課…1人

税務会計課…2人

▷応募資格 町内に住所があり、パソコン操作のできる人

▷賃金日額 5,400円

▷任用期間 来年1月1日~3月31日

※必要がある場合は最大8カ月まで期間が更新されます。

▷申込方法 役場住民生活課、各支所に備え付けの履歴書に必要事項を記入し、役場総務課へ提出してください。

▷申込期限 12月9日

▷問い合わせ 役場地域整備課下水道業務担当(内線212)、税務会計課町民税担当(内線111)へどうぞ。

## ヘルパー2級課程研修会開かれます

山田町シルバー人材センターでは、訪問介護員(ヘルパー2級課程)の養成研修会を開催します。受講料は無料ですので、どうぞご参加ください。

▷期間 来年1月10日~2月21日(31日間)

▷場所 町中央コミュニティセンター

▷対象 55歳~70歳の人

▷定員 20人

▷申込期限 12月9日

▷申込先・問い合わせ 山田町シルバー人材センター(☎82-3381)へどうぞ。

## 行政相談あります

▷日時 12月15日(木) 午前10時~正午

▷場所 町中央コミセン

※行政について納得できないことなどご相談ください。

## 12月の町長面談日

▷日時 12月14日(水) 午前10時~正午

▷場所 役場4階特別応接室

※面談希望の人は役場総務課内線413へご連絡ください。

# おめでた・おくやみ



10月届け出分 (敬称略)  
**〔出生〕** ( ) は保護者名と性別  
 ▷山田 大久保輝星 (一孝・男)、君澤陸冬 (剛・男)、今井来玲芭 (大策・女)、武藤楽 (一仁・男)  
 ▷船越 山崎志音 (武彦・男)、菅原林果 (一紀・女)  
 ▷大浦 山根颯龍 (嘉春・男)  
 ▷織笠 稲川柊真 (光寿・男)、阿部琉梨 (利幸・女)  
 ▷大沢 柏谷愛海 (智康・女)  
 ▷豊間根 豊間根亜衣 (陽介・女)、佐々木 蓮矢 (博達・男)  
 ▷荒川 齋藤聖弥 (一哉・男)

**〔結婚した二人〕** ( ) は住所  
 花坂裕史 (田の浜)・小堀内優子 (宮古市)  
 山崎雅広 (田の浜)・越田香奈子 (織笠)  
 佐々克考 (織笠)・山本安奈 (宮古市)  
 昆恵一 (織笠)・星子弥生 (大槌町)  
 鈴木元 (豊間根)・加藤五月 (宮古市)  
 千代川孝徳 (北浜町)・湊弘美 (北浜町)  
 千代川清照 (大沢)・遠藤雅枝 (福島県いわき市)  
 山崎勝彦 (船越)・沼崎知佐子 (織笠)  
 内館勝 (山田)・川戸由紀子 (宮古市)

**〔死亡〕** ( ) は年齢  
 ▷山田 武藤勇三 (71)、白土米藏 (76)、堀合スヘ (85)、大杉マサ子 (81)、柳澤力雄 (82)、瀬川捷夫 (62)  
 ▷船越 藤原正吉 (78)  
 ▷織笠 佐藤澤竹五郎 (94)、高橋専次 (75)、中村コト (89)、昆野節子 (100)

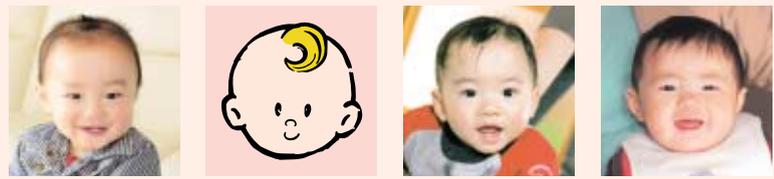
## 町民のうごき

(10月1日~31日)

▷出生……14人	▷転入……48人
▷死亡……14人	▷転出……53人

---

▷人口…20,782人 (今月減 5人)  
 男…9,972人 女…10,810人  
 ▷世帯数……………7,259世帯



中鉢航太 (飯岡・良樹・男) 齊藤魁 (織笠・順一・男) 西館諒大 (船越・孝紀・男)



武藤遥 (北浜町・庄一郎・女)



鈴木陸久 (飯岡・貴彦・男)



佐々木勝美 (大浦・貴男・女)

12月生まれ

赤ちゃん紹介

# 一歳になりました

※敬称略・( )内は地区名、保護者、性別です。



湊茉莉子 (飯岡・千里・女)



鳥井海翔 (飯岡・勝一・男)



小林愛華 (織笠・隆弘・女)



五十嵐颯 (長崎・亮・男)

## 山田町合併50周年記念第3回歴史講演会

入場無料

# 絵師藍田

—その生涯と作品—

幕末の山田に生まれ、染物業を営みながら絵師として活躍した、佐々木藍田の生涯と作品を紹介します。

▷日時 12月16日(金) 午後3時~  
 ▷場所 町中央公民館小ホール  
 ▷問い合わせ 町教育委員会事務局文化担当 (☎82-3111内線624) へ。

◆町のわだいでも紹介していますが、先日行われた「ふるさとCM大賞」で審査員特別賞のユーモア賞をいただきました

▼出演していただいた沼崎正弘さん、平石真統くんをはじめ、撮影機材などを快く貸してくださった皆さん、ほかにも数え切れないほど多くの方々のご協力で本作品を作ることができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。来年もユーモア賞目指し頑張りましょう。

◆恒例の「鮭まつり」を取材しました。サケのつかみ捕りが始まる直前で雨に降られてしまいました。サケと格闘する子供たちのバーストショットは何とか逃さず撮影。写真の出来栄を楽しみに意気揚々と帰りました。しかしながら、出上がった写真は完全なピンボケ。さらにレンズに付いた水滴までも写っているありさまで、とうてい使える写真ではありませんでした。逃した魚は大きい…。

幸

